

# 思いをつないで風になる 駅伝県大会



## 女子が6位 近畿大会へ

▲一斉にスタートした選手たちと男子1区の山本君(ゼッケン16番)

11月5日に滋賀県希望が丘文化公園で男子第68回・女子第35回滋賀県高等学校駅伝競走大会が行われ、本校陸上部から男女それぞれ1チームずつが参加し、女子が近畿大会出場を手にした。

大会には本校陸上部から山本健斗君(2-2・男子第1区)、松井俊樹君(2-5・男子第2区)、呉屋知君(2-8・男子第3区)、柴田佳幸君(2-6・男子第4区)、川崎新也君(1-1・男子第5区)、奥村魁君(2-1・男子第6区)、森隆志君(2-2・男子第7区)の男子7人と山下恵実さん(1-1・女子第1区)、橋本萌衣さん(1-2・女子第2区)、松浦明日菜さん(2-7・女子第3区)、伊藤亜友加さん(1-2・女子第4区)、種村涼花さん(1-6・女子第5区)の女子7人が出場した。上位6位までが近畿大会への出場権を



速報新聞

# キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

## 新聞部

彦根市金龜町4番7号

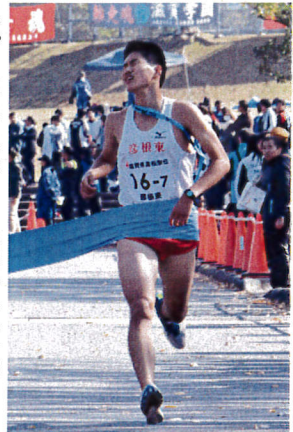


▲橋本さん(左)と松浦さんは4位でタスキをつないだ。

女子第1区走者の山下さんは大会前の取り組みを「チームのなかで『必ず近畿大会に出場しよう』と誓い合い、仲間たちとライバルとして高め合っていた」と振り返った。近畿大会に向けては「かなりレベルの高い大会。そのなかで彦根東が上位に入るの難しいかもしれないが、県大会よりも良い走りができるよう

6位以内に入れなくて悔しい。心底近畿に行きたかった」と悔しさを滲ませた。これからの練習に向けては「チームの実力が足りなかった。みんなの意識を高めて、冬の練習に取り組みたい」と課題を話した。

得られるな男子が7位、女子が6位という成績を残し、女子が近畿大会進出を果たした。  
男子第2区走者の松井君は7位という結果を「今まで近畿大会出場を目標にチームみんなで練習してきた。6位以内に入れなくて悔しい。心底近畿に行きたかった」と悔しさを滲ませた。これからの練習に向けては「チームの実力が足りなかった。みんなの意識を高めて、冬の練習に取り組みたい」と課題を話した。



◀惜しくも7位でのゴールとなった森君

女子第3区走者の松浦さんには自身チームで唯一の2年生であったことについて「走者の大半が1年生だったが、みんな頑張っていたので2年生として頑張らないといけないと思った」と話した。本番の走りについては「あまり調子がよくなかった。でも順位としては思った通りの順位を獲得したと思う」と振り返った。  
顧問の森野邦彦先生は「修学旅行があるのに、出場しない2年生も応援に来てくれていた。男子は来年リベンジをしてほしい。女子は1年生が多いので、近畿大会はもちろんだが来年の大会はもっと上位に入れるようにしてほしい」と展望を話された。木村優花先生は「チャンスは何度も訪れるものではない。2年生はあとは春の大会だけだ。数少ないチャンスで力を発揮できる選手になってほしい」と今後を見据えられた。